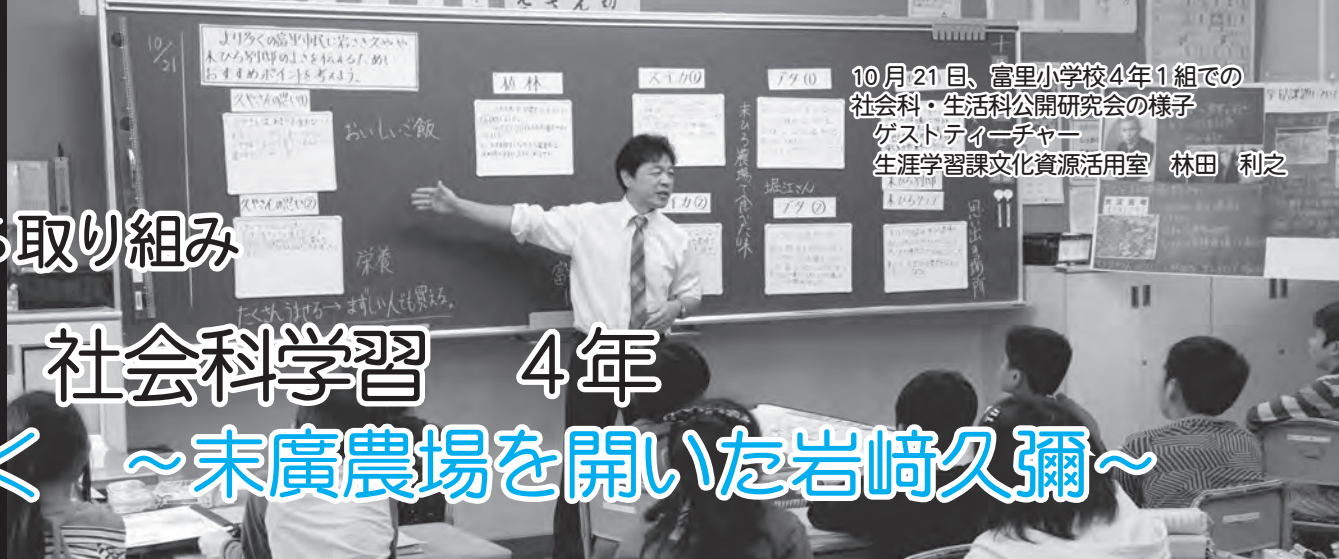


市内で展開している取り組み

富里小学校 社会科学習 4年
郷土を開く ～末廣農場を開いた岩崎久彌～

10月21日、富里小学校4年1組での
社会科・生活科公開研究会の様子
ゲストティーチャー
生涯学習課文化資源活用室 林田 利之



学習内容

①富里はどのように開拓されたのだろうか。

調べる

明治時代の開拓年表や開拓者数のグラフを読み取り、七栄の開墾が大変だったことについて調べる。



▲調べ学習の様子（3組）

確かめる

人、生活、方法など観点毎に整理して確かめる。

まとめる

江戸時代に武士や町人だった開墾民が大変な生活をして、荒れ地を手作業で開拓した。しかし、台風や火事で会社がなくなくなり、開拓は失敗した。

以上の学習を踏まえ、4年生は、末廣別邸の活用に向けて、より多くの市民に岩崎久彌や末廣別邸の良さを伝えるためにグループ毎におすすすめポイントを考えました。

②岩崎久彌はどのようにして末廣農場を開いたのだろうか。

調べる

岩崎久彌や末廣農場について調べる。



▲堀江ファームの見学（1組）

確かめる

KJ法で整理し、グループで話し合い、全体で確かめる。

まとめる

岩崎久彌は、人のために役立つ農場を開きたいという思いをもって末廣農場を開いた。植林で土地を豊かにし、機械を使って鶏や豚、スイカなどの研究をした。富里の誇りである末廣別邸を大切に守っていかねばならない。

旧岩崎家末廣別邸のおすすすめポイント

1組の意見



久彌さんの思い①

久彌さんは、あまりお金のない人もおいしいご飯を食べられるように、野菜や家畜を育てられるような農場を作り上げました。

久彌さんの思い②

ニワトリに卵をたくさん産ませ、卵を安くしてお金がない人でも買えるように系統繁殖法を考えた。

植林

111万本の木を20数年もかけて、植林をしました。だから、土がよくなり作物が育ちやすくなりました。もしも、植林をしなかったら富里市は荒れ地のままだったかもしれません。

スイカ①

スイカが有名になった理由は、久彌さんがスイカの研究をしたから。研究は原々種栽培。末廣農場は、最初の種の研究をしてこの農場がやったから、いろんな所でスイカが育てられるようになった。

スイカ②

もとのスイカと変わらないようにするために、末廣農場で研究をして、成功して日本中に広まった。

ブタ①

中ヨークシャーには、オレンジのタグが付いている。堀江ファームさんは、そのお肉がとてもおいしくて続けている。（ハム、ベーコン、ソーセージ）

ブタ②

小さい頃、久彌さんにお世話になって、久彌さんが飼っていたブタを小さい頃に食べておいしかったので、いろいろな人に食べてほしいから堀江ファームを始めました。

ニワトリ

ニワトリ1羽につき、小屋が1つあった。そのニワトリは、強いニワトリと卵をたくさん産むニワトリを結婚させて、たくさんの卵を産ませて安く卵を買えるようにした。

末廣倶楽部・末廣別邸

末廣別邸は、末廣農場の中心にあって久彌さんの亡くなった思い出の場所だから、みんなで大事にして久彌さんの歴史を伝えていかなければいけません。

久彌さんの思い①

人の役に立つために、またニワトリが卵をたくさん産む研究をするために、末廣農場を開いた。

久彌さんの思い②

久彌さんは、富里市民だけでなく、世界中の人たちが栄養のある食べ物を食べられるようにしたいと考えた。

久彌さんのやりたいこと

久彌さんは、一般の人にも安く栄養がいっぱいの卵を食べさせてあげたかった。

スイカ

久彌さんがいなかったら、富里市はスイカが有名でなかった。久彌さんが原々種栽培をやったから、スイカが有名になった。

ニワトリ

久彌さんは、系統繁殖法で一羽一羽をよく覚え、ギネス世界的記録に認定されるような研究をした。

ブタ

久彌さんが、わざわざイギリスからおいしいブタを連れてきました。

末廣農場

昔、久彌さんが荒れ地を20年間も植林し、お金もうけではなく日本の発展のために末廣農場を開いた。

2組の意見



末廣別邸

末廣別邸や久彌さんの歴史を未来の人たちにも知ってほしいです。

末廣倶楽部

林田さんが中心となりできた末廣倶楽部が別邸を守っているので、ぜひ私達も守っていきたい。

3組の意見



久彌さんの思い①

岩崎久彌さんは、実験を多数行い、人の役に立つ農場を作るという思いで農場を作り上げた。また、岩崎久彌さんは、にわとりやブタなどの命を大切にすることであった。

久彌さんの思い②

久彌さんは、貧しい人のために卵を安く売って、栄養をあたえた。111万本の木を植えた。動物が大好きで動物の研究をしていた。争うことがきらいだった。

植林

久彌さんは、人の手で1本ずつ20年以上かけて111万本植林をしました。落ち葉を肥料にして土に栄養を与えました。もし植林をしていなかったら、富里市は荒れ地のままだかもしれません。

道具

久彌さんは、世界中のみんなのために農牧業を発達させた。久彌さんは、色々な道具や機械を使って、自分の力で農作物を作った。

鶏（トリ）

系統繁殖法とは良いニワトリと良いニワトリをくっつけて、おいしい卵をうまくさせることです。その卵を安く売り貧しい人にも買ってほしい、健康にすることができました。

ブタ

堀江ファームの堀江さんは、子どもの時に中ヨークシャーを食べたことが忘れられないから、中ヨークシャーという種類のブタを取り入れている。久彌さんへの恩返しをしたいという思いから今も続けている。

スイカ

スイカはもともと外国の食べ物で、久彌さんがスイカの種を仕入れて、富里の名産になるきっかけを作った。原々種栽培をして、富里でスイカを育てられるようにした。

末廣倶楽部

末廣別邸を守りたい、知ってほしいという強い思いで、一つ一つ人の手で一生懸命、きれいにしようと守り続けている。

末廣別邸

久彌さんが生きていた場所だから、受けついでいかなければならない。もし別邸がなかったら、久彌さんのすごさが伝わらなかった。